



# 県児童生徒作文コンクール 入選

大の字を覚えてください。  
日 欄 欄

形のない宝物「かごしま創志塾」  
 伊敷台中学校 三年 北村 莉子  
 私は昨年、「かごしま創志塾」に第五期生  
 として参加しました。「かごしま創志塾」と  
 は様々なカリキュラムを通して、次世代を切  
 り拓く青少年を育成する事業のことです。数  
 学や国語のような勉強ではなく、リーダーに  
 なる「なり方」や世界で活躍する術を学びま  
 す。  
 この創志塾に参加して得たものがたくさん  
 あります。まず、ALTとの英会話での活動  
 では、英語を話すことの楽しさ、グローバル  
 化が進む今の英語の大切さを知りました。私  
 は、英語が苦手というわけではありません。で  
 したが、英語圏ネイティブの話を聞き取った  
 り自分の言いたいことをうまく伝えたりする  
 ことが難しかったです。その中でも試行錯誤  
 して何とか自分の言いたいことが伝わった時  
 の感動は今までにないものでした。この経験  
 から、今、私は英語が好きになり、もっと学

No. 1

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」の中に入れてください。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れてください。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはおきない、むだなことはけつりましょう。

1. 題目は、一行の三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
  2. 学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
  3. 文章は三行めから一字空けて書きはじめましょう。
  4. 文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字空けて書きはじめ、一つの段落が終わったなら行を変えましょう。
- ( ) 月 ( ) 日 ( ) 曜日

びたい話せるようになりたいという意欲がわ  
 いてきました。それから、創志塾でしか体験  
 できない講話をたくさん聞いたことで自分の  
 考え方を変えることができました。日本と違  
 うところがたくさんある海外からは学ぶこと  
 が多いです。例えばグローバル化が進む今、  
 海外にも目を向けることが今後社会で生き残  
 るために必須であることを知りました。さら  
 に、講話をしてくださった先生方は本当にす  
 ばらしい方々ばかりで専門性が高いばかりか  
 話も大変面白く、一つ一つの言葉がとても心  
 に響きました。その中で特にコミュニケーシ  
 ョンが大事だと思いました。講師の先生が言  
 われていた「日本人は空気が読めて気配りが  
 できるが、シャイだから発表する人が少ない  
 という言葉を通じて、それでは世界には通用  
 しないと思いました。また、「リーダーにな  
 ることは簡単ではないこと、伝えるより伝わ  
 る工夫をしなければいけない」という考え方  
 等も教わりました。これらの学びから、自分

5. 読みやすいように、「と」とをしっかりとつけましょう。「と」とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6. 人が話したときは、「」の中に入れてください。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れてください。
7. 漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしっかりと使い分けましょう。
8. 書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことをおぎなひ、むだなことをけつりましょう。

- 1、題目は、一行の三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字空けて書きはじめましょう。
- 4、文章の標本をしっかりと書いてから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字空けて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

に足りないものは、誰もしたことがないこと  
 や、あえてリスクにチャレンジすることだと  
 気付きました。そして、なかなかできない現  
 状ですが、他の人に仕事を頼んだり、頼るこ  
 とは、とても大事なことだと思います。この  
 創志塾で最高だったことは、自分と同じよう  
 に夢や目標に向かって努力する志の高い友達  
 ができたことです。私は、友達をつくるのが  
 少し苦手な性格なので最初は不安でしたが、  
 勇気をもって同年齢だけでなく異年齢とも話  
 をしたりすることで初めて学校以外でも友達  
 をつくることができました。嬉しかっ  
 たです。自分たちの夢や目標について真剣に  
 語り合い、相談し合うことができました。そ  
 の時は、自分も含めてみんなの目がキラキラ  
 していたに違いありません。その友達とは今  
 でもつながっています。

私は獣医師になりたいという夢があります。  
 創志塾で世界に関することを学んで、私も世  
 界で活躍する獣医師になりたいという大きな

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」の中に入れてください。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れてください。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことをおさらい、むだなことをけつりましょう。

1. 題目は、一行の三ばんか四ばんめのマスから書きましょう。
2. 学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3. 文章は三行めから一字空けて書きはじめましょう。
4. 文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字空けて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

夢ができました。そのためには、小さな夢、目標をもち、一つ一つ叶え、達成し、いろいろなこと、たくさん吸収するスポンジになり、夢を実現させる知識、勇気をもちたいと思います。そして将来、夢を叶えて、仕事を楽しくしながら、やりがいをもって幸せに生きたいと思えます。願わくば将来、講師として創志塾に参加して恩返しができればと思っています。私のような中高生に何か残せればと思います。創志塾の先生方に感謝すると共に、今の少しばかり成長できた私を育ててもらいたいです。創志塾にはもっとたくさんの中高生に参加して欲しいです。何よりみんなにもっと「かごしま創志塾」を知って欲しいと思います。

今回、創志塾に参加できたことは、自分を变えてくれたと言っても過言ではない、私の大切な宝物になりました。

5. 読みやすいように、「と」をしっかりとつけましょう。「と」とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6. 人が話したところは、「」の中に入れてください。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れてください。
7. 漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」「へ」と「え」「お」と「を」、しっかりと使いわけましょう。
8. 書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはをおさない、むだなことはをけつりましょう。